

平成 30 年度
第 4 回 羽黒地域振興懇談会
会 議 録 (概要)

期 日 : 平成 31 年 2 月 20 日 (水)
場 所 : 羽黒コミュニティセンター 会議室

平成 30 年度 第 4 回 羽黒地域振興懇談会会議録

○日 時 平成 31 年 2 月 20 日 (水) 午後 3 時 00 分～午後 5 時 15 分

○場 所 羽黒コミュニティセンター 会議室

○出席委員 10 名

勝木正人委員、今井忠次委員、堀 誠委員、小南孝子委員、百瀬清昭委員、阿部良一委員、
星野博委員、小林馨委員、梅津久美委員、吉田智紀委員

○欠席委員 5 名

山口秀雄委員、榎本トヨ委員、田村元治委員、齋藤直道委員、長谷川結委員

○市側出席職員

<羽黒庁舎> 支所長 國井儀昭

総務企画課長 伊藤義明、市民福祉課長 岡部富美、産業建設課長 佐藤 守
産業建設課長補佐 上林喜博、地域まちづくり企画調整主査 観世安司
総務地域振興専門員 土岐美代

<本 所> 地域振興課専門員 芳賀俊郎

○傍聴者 なし

○次 第

1.開 会

2.あいさつ 羽黒地域振興懇談会会長 勝木正人
羽黒庁舎支所長 國井儀昭

3.報 告

(1) 第 2 次鶴岡市総合計画の概要について

4.協 議

- (1) 羽黒地域振興計画 (案) について
- (2) 地域まちづくり未来事業計画 (案) について
- (3) その他

5.そ の 他

6.閉 会

【会議の概要及び発言趣旨】

- 1 開 会 （総務企画課長）
- 2 あいさつ （羽黒地域振興懇談会会長 勝木正人）
（羽黒庁舎支所長 國井儀昭）
- 3 報 告 （議長 会長）
 - (1) 第2次鶴岡市総合計画の概要について

— 事務局から報告 地域まちづくり企画調整主査 —

会 長

大変盛りだくさんな説明でしたが、委員の皆様からご質問等ありませんでしょうか。

委員①

1月27日に開催された第2次鶴岡市総合計画市民説明会に参加したのですが、どうもよく分かりませんでした。その場でも質問をしたのですがSDGs、これはSustainable Development Goalsと英語でいうそうです。これが例えば地域の国際化とどう結びつくのか、持続可能な発展ということですから環境エネルギーとか環境問題とかそのようなところが、国連で採択されたと思うのですが、この羽黒地域、鶴岡にどのようなものが具体的に10年間で取り上げられていくのかということ、いまいち理解ができませんでした。もし少し分かる説明があれば良かったと思います。やはりこういうのは非常にインパクトはありますが、住民が分かる用語に置き換えた方が、もっと分かりやすいのではないのでしょうか。

支所長

皆さん、分かっているようで分かっていないSDGsではありますが、これはユネスコで継承されている「これから未来に向けた持続可能な社会を築いて行きましょう」という中の一環だと思います。よく青年会議所でこのフレーズを使っているようですが、こうした考え方は色々な所に広がっていくのだろうとは思っています。今後、持続可能な社会を実現するための事業であれば、ここに繋がっていくのではないかと私なりにみています。上手く説明ができませんが、市の取組みをおしてこうした考え方を理解していくほかないのかなと思っています。

委員①

第2次鶴岡市総合計画(案)の142ページに載っていましたがずっと読んではいたのですが、いまいち具体的にこうなんだというものが分かりません。持続的な社会を創って行きましょうということなのですね。

会 長

私も初めて聞いた単語でした。皆さんも心に留めておいていただきたいと思います。他にござ

いませんでしょうか。

委員②

その説明会に婦人会から二人で参加しました。羽黒地域からも区長さんをはじめ多数来ていました。その時はちょっと分かったような気がしていたのですが、家に帰って見直すとやはりちょっと難しいなと思っていました。辞書を引けば分かるのかもしれませんが、もう少し分かりやすく話をしてもらえたらよかったのにと感じていました。今回は2回目なので少し分かりました。

支所長

難しい言葉は注釈をつけるようにしているようですが、その注釈も難しいと言われると困りますが、できる限り分かりやすい表現にするよう、政策企画課には要望したいと思います。

委員①

資料1の3ページ、「社会システムを整える」というところの、若者・子育て世代応援プロジェクトの中の「若者の地元就職・地元回帰に繋がる奨学金制度を創設」、これは新たな発想でこういう制度を創ろうというプロジェクトなのでしょうか。組み換えになるのかもしれませんが、基本的には非常にいいと思います。もっとこういうことをしていかないと定着しませんし、Uターンも進まないと思います。これをしっかりやるためには、相当のノウハウを身に付けないと財政面でやっていけなくなります。当然給付型も必要になると思います。

支所長

その件については、まちづくり未来事業のところで話をしたいと思います。

会長

新聞報道などに、計画の進行管理で評価をして成果指標を出す、それができなければどうなるとか報道されていたのですが、その辺を少し説明していただきたいです。PDCAについてです。

総務企画課長

成果指標 KPI を設けるわけですが、これはその事業に取り組んだ時に達成されるであろう数字等を記載しています。実際に取組みを進めて行く中で、やはり違うといった場合には見直しを行っていく。それが PDCA で、実際にはローリングをしていくということです。

会長

農業産出や観光客数とかは、案外やれば達成しやすいような気がします。ただこの前ショックを受けたのは手向の人口が今 1,400 人位なのですが 2068 年には 300 人位になるというのです。唯一、鶴岡の中でいい成績をあげていたのは羽黒第四地区でした。

支所長

今、上野新田は子どもたちがたくさんいてすごいですね。

委員①

20人ぐらいいますね。

会 長

人口減少はやむを得ないと思うのです。しかし、どこまで歯止めをかけるかという。(藤山浩)先生には、今、手向地区では1人の女の人が産む子どもの数を1.7人から2.2人にして、そして他所からの移住者を毎年連れて来てというような具体的な目標を出してもらったのですが、そうだなとは思いましたが、ただで来るわけがないのです。だから鶴岡は本当においしいところだとアピールしなければ来ないと思います。上野新田はすごくおいしいところなのかなと思います。

委員①

人口の問題も気になるころではありますが、統計はどこで集計したものか分かりませんがもっと厳しいと思います。どのような根拠なのかももう少し調べてみないと分かりませんが、上野新田集落も第四地区も相当厳しいと思います。

会 長

3月10日にその発表会があります。是非、行っていただければと思います。

委員①

資料1の3ページに農業産出額が400億円とありますが、はっきり言って難しいと思います。現状維持できれば御の字だと思います。相当移住者が来て、そのうえ農業施設を建てるとかになれば10年間で100億はいくと思いますが。

支所長

そのようなものも考えています。

委員①

だから、いこいの村を改修するのですね。これは産出額だけではなく、これに関連した食の部分とか、観光部分などを含めての金額になるのだと思いますが、県は単なる生産額ではありません。かなり理由をつけて関連事業も全て入れています。

会 長

委員④その辺はどうですか。

委員④

いこいの村に新しい宿泊型施設を、あの周辺のハウスとか園芸などを考えて建てるということです。そこで勉強してもらい、独立してもらおうという考え方のようです。農協自体も応援していこうという部分もあるものですから、ある程度大きな目標がないと、やはり次世代に繋がっていかないというのはあると思うのです。おっしゃるとおり、かなり難しいことではあると思いま

すが、関係機関などからの協力体制の部分もあるものですから、恐らく高い目標となっているのだと私は思います。ハウスのリースとその部分で、県や国などの補助金をかなり使うものですから、やはり、ある程度の目標は持たないといけないとは感じています。

委員①

最近空いている畑が沢山ありますしハウスも空いています。そういう実態を見ていただきたいです。

委員④

その辺はまたその人たちから利用してもらおうなど、そのような部分に繋がりたいという思惑があると思うのですが。

会 長

時間の関係上、第2次総合計画の報告についての質問は終わらせていただきます。

4 協 議

(1) 羽黒地域振興計画（案）について

会 長

それでは次に4.協議（1）羽黒地域振興計画（案）について事務局説明をお願いします。

— 事務局から説明 地域まちづくり企画調整主査 —

会 長

ありがとうございました。ただいま事務局から説明がありましたが委員の皆様からご質問やご意見等ありませんでしょうか。

委員④

堆肥の関係になりますが、30年度で見直しという部分があったわけですが、進んでいない状態であるという気がします。その部分について行政の方でサポートをしていただけるという考え方ということでしょうか。地元の堆肥を有効活用する支援を行いますよということ解釈しても宜しいのでしょうか。

産業建設課長

この羽黒地域の部分につきましては、まず羽黒の特徴でありましたアスパラガスの生産については、当初1反歩あたり400キロ程採れていたのが、確か苗木がだんだん老化してきたこと、農業者が減ってきたということで生産が1反歩、100キロ程までに落ちているとのこと。やはり羽黒の特徴としてのアスパラを今後また復活させたい、生産振興を目指したい、そういう意味で苗の助成と、土壌づくりのために堆肥を入れ込むための助成ということになっています。その新しい堆肥製造施設の整備については、鶴岡市総合計画で考え方の中に項目としては見えません

が、土づくりという部分で入っているということでご理解願います。

支所長

委員④から発言がありました件については、第2次鶴岡市総合計画(案)の75ページの「循環型農業の振興」のところに載っていますので参考にしてください。

会 長

委員⑤松ヶ岡についてご意見等ありませんでしょうか。

委員⑤

全体的に今の説明でまず良くできている、納得できるとものだと思います。その中で松ヶ岡に関して多大な支援をしていただけるという内容で記載されています。2ページにオリンピック・パラリンピック開催以降ということですと記載がありますが、「松ヶ岡開墾150年などが予定され観光面の追い風になる」というような表現は大変ありがたいのですが、私どもにとっては非常にプレッシャーになってしまうのです。150年は確かですが、そこは地域でやるしかありませんし、市など他所にお願いをして何かをしてもらうということまではお願いできないと考えています。このように記載してあるのに、「あなた方の動きが鈍くて観光客の増にならないじゃないか」というようなことにならぬよう頑張りますが、非常にプレッシャーに感じるという感想を持ちました。色々な所で書かれているということは本当にありがたいですし、それなりにやらねばという気持ちにはなります。しかし、人と金との兼ね合いがありますのでどこまでできるのかという。大きいイベントというのは考えられませんが、頑張っていきたいとは考えております。

支所長

プレッシャーに感じるという部分があるということですので、まず表現は変えたいと思います。オリンピック・パラリンピックと羽黒山橋の供用開始、丑年御縁年、またここにはありませんが酒井家入部400年記念など、これから大きい出来事が続くという意味で並列をさせていただきました。決してプレッシャーをかけるということではありませんが、これは羽黒として全面に出したい出来事でありますので検討させてください。

会 長

委員③羽黒山の観光について何かありませんでしょうか。

委員③

羽黒町時代から農観連携という言葉がありまして、ずっとそれをトップに活動してきたわけですが昨年、農協から枝豆を宿坊で出していただきたいという話があり、色々模索したのですが、時期が遅いのです。併せて5キロ単位、10キロ単位と出るほど客は来ません。我々も再度考えなければとは思いますが、生産する方でも売る所がなくて色々悩んでいると思います。アスパラもそうですが、アスパラは10年もすれば土壌が駄目になりますよね。その畑を変えなければいけませんよね。その分広大な土地も必要となってくるわけですし、代替農地も必要になってくるわけ

です。それだけ一生懸命頑張っていたのに、やはり農観連携が成りたっていない現状というのはすごく残念だという感じがします。

会 長

だだちゃ豆は盆過ぎですからね。

委員①

しかし、品種が多くあるのでいくらでも可能なのではないですか。

会 長

早生もありますし。今、冷凍が最高に美味しいですよ。

委員④

冷凍というのは如何なものかというところではありますが、以前よりは美味しくはなっています。しかし、生と比べれば味が落ちるということはあるでしょう。

委員②

やはり、季節のものは季節で食べなければ駄目でしょう。しかし、観光客には長時間滞在していただき、できれば泊まってお金を落としてもらおうというのが一番だと私は思うのです。手向あたりで8月お盆過ぎに人が来ないというのは講中がほとんどだからでしょうし、やはりフリーの観光客を呼び込んで泊めることはできないのでしょうか。

委員③

それは前にも言ったように宿坊の原点というのは檀家を回ることが基本です。旅館の人から宿坊も泊めればいいのにとというようなことをよく言われますが、旅館の邪魔をして一般客を泊めてもしょうがないと言う宿坊もありますし。

委員②

羽黒に旅館はありますか。

会 長

ありますよ。手向地区には2軒、あと休暇村があります。

委員③

宿坊でも一般客を泊めているところが2、3軒あります。

委員②

そのようなところ(宿坊)がどうにかならないものかいつも思います。

委員③

全ての宿坊が、そのようにできる環境ではないのです。

会 長

信仰がメインで、信仰があるが故にそこに来たいというインバウンドもあるわけですからね。では、委員⑥をお願いします。

委員⑥

神社はもちろんお参りに来る人を中心にしてお迎えします。来た人は今の話しのとおり、美味しいものを食べたり温泉に入ったりとそういう当たり前のことでも喜んでくれていると思います。ですから、せつかく来た人をきちんと捕まえてから帰すという、お金を落としてもらってということですが、そういう形はどんどん利用していただければと思います。そのために神社もあるつもりでいますので。五重塔の特別拝観などで人は来てくれますが、どうもそこがそのまま地元できちんと反映しているかという、そうではないような感じもしています。

以前商工会だったと思いますが、中心となり門前市など何年間かやっていましたが止めてしまいました。しかし今、何かまた考えてくれていますので、是非ともそんなところはどんどん利用してもらいたいと思います。もちろんそこに来た人が平野部の方に回って行くということだと思いますが、黄金堂やいでは文化記念館など信仰的なものを見たり聞いたりできるポイントがありますので、その辺は上手く連携していった方がいいと思っています。それは飲み食いの方向性からは離れますが、是非上手く回れるような形を考えていただきたいと思います。

会 長

前回の地域振興計画の中に、112号線から来て鶴羽橋に行くというルートが分からないということでサイン表示をすることを盛り込んだ気がしたのですが、なかなかそれが実現しません。実際は観光バスでさえそのルートを使い、鳥居をくぐらないという状態が出てきています。ですから、その辺をひとつ入れてくれればよかったのかなと思います。私としては前回の計画がやはりまだ未着手のような気がするのです。では、委員⑦をお願いします。

委員⑦

日本遺産を二つ持っているというこの羽黒町です。その中で掲げられている部分をきちんとやっていければと思います。少子高齢化、人口減少ということで10ページに載っていますが、実際に人口が平成2年から1,800人ほど減って、65歳以上の人口が逆に1,000人近く増えるということで高齢化14.7%増の32.9%に上がっています。これは通年計画だとすれば年々高齢化になっていき人口減少は進んでいく。それを支えてくれる足元はどのようにしているのかなということです。この総合計画のように発展、進行していけば素晴らしいことですが、それを支える子どもが居なくなるということが危惧されるということが第一点です。

また、鶴岡市総合計画の地域コミュニティということで基本計画に載っていて、羽黒の地域振興計画にも載っていたのですが、やはり中高生とのコミュニケーションの場が段々少なくなっているのかなと。中学校の地域懇談会の中に区長さんからも入っていただき防災意識を高める

方策として、「もし家で何かあったら逃げる時はここだぞ」とか直接子どもたちに話していただく場などコミュニケーションづくりを進めることも重要なことだと思います。

それからもうひとつ、高齢化が進んでいるということで市営バスの運行ということでしたが、今後、免許証を返納する方が増えてくるかもしれないということを考えた場合、やはり市営バスだけでまかりとおるのか。安心して暮らせるまちづくりを目指すのであれば市の方でも何かしらの対策をもっと考えていかないと後手後手になってしまうのではないのでしょうか。そういう部分を検討課題に挙げていただければと思います。

総務企画課長

人口減少とPTA、学校関係、それと市営バスの関係の話でしたので私から若干お伝えしたいと思います。人口関係については、ここには羽黒地域の将来人口予測というのは載せていませんが、先程、総合計画での説明の中で将来的な予測についての話がありました。この総合計画の検討段階で鶴岡市全体としてこのままいくと人口は下がるけれども、将来的にも10万人を切らない。この事業を行っていきながら10万人を切らないようにしていこうということで人口設定をしているようです。その中で羽黒地域についても同様の事業を取り組みながら人口を下げ止まり、止まるように行っていきたいと考えているところです。

また学校関係については、教育委員会が統合されたものですから庁舎の組織で残っているのは社会教育部分だけというところで、学校教育までも対応がなっていないというのが現状です。

それから免許返納に伴った交通弱者の足の確保の観点から市営バスだけではちょっと難しいのではないかということでしたが、羽黒地域の公共交通については、庄内交通の路線バスと庄内交通の路線バスが無くなったことによる代替手段として市営バス2路線の運行を行っているところです。路線バスについては、庄内交通が市の補助金をいれてもなお赤字となっているという状況でありますし、そこに鶴岡市としても補助金を入れながら維持していくようであります。市営バスについても実際、料金収入よりも事業費の方がかなり多くなっていて、その中でも利用者が増えるように、利用者の利便性が向上されるように市営バスの利用協議会と一緒に活動していきますので、そういったものを取り組んでいながら交通弱者の対策を継続して行っていきたいと考えています。

委員①

羽黒地域振興計画（案）4ページの歴史文化の継承と発信というところですが、私は今、小学生の見守り隊ということで子どもと一緒に歩いたりしているのですが、その中で少し感じることもあります。広瀬小学校だけではないと思いますが、せっかく日本遺産が二つもあるので、それをしっかり小学生のうちに体験する、しっかり身につけていただく。インバウンドの交流とか外部に体験させることも大切ですが、やはり地域に住んでいる住民や子どもたちが将来、外に出ても経験を積んでいるから知識も身につけている。それが回帰、リターンしてくる現象になってくるかもしれない。やはり小学生のうちに羽黒棒と言ったら大袈裟ですが、例えば山伏修行体験を羽黒地域の子どもたち全員が一泊二日で宿坊やいでは文化記念館で体験をさせてもらうとなど、小学生のうちぐらいしか機会がないのではないのでしょうか。学校では今なかなか難しいでしょうから、自治振興会とか自治会組織が中心となり事業を子どもたちが体験するとか長くは無理だろ

うけれども短期間の体験であれば、全小学生が可能かなという感じがするのですが。松ヶ岡もそうですし全員が蚕の体験をしたことがあるとか、そういったものを子どものうちにしっかりとやっていける仕掛けづくりも大事なのではないのでしょうか。

会 長

手向の自治振興会は朝山登山ということで今までは手向限定だったのですが、小学校統合に伴い、現在羽黒小学校に広げて実施しています。

あと鶴岡市がそのような点でやる気がでてきたと思うのは、中学生のニューブランズウィック市、アメリカなのですが、応募者が殺到するのではないかと言われていました。もう選考が終わったと聞いていますが。かなりそこらへんは力を入れているのかなと思いました。

委員①

今、高齢化社会ですので高齢者にお金をつけることはいいのです。しかし、どうも若い世代に対するサポートが非常に弱いとずっと思っているのですが、そこをもう一度発想を変えて、高齢者も若い人もやはり両方バランスよくということだと思えます。

会 長

ですから、新島の補助金ももっと増えてもいい気がします。

(2) 地域まちづくり未来事業計画 (案) について

会 長

では次に (2) 地域まちづくり未来事業計画 (案) について事務局説明をお願いします。

— 事務局から説明 総務企画課長 —

会 長

ありがとうございました。では委員⑧ご質問やご意見等ありませんでしょうか。

委員⑧

今、ご説明いただいた中でイメージがわからないものについて教えていただきたいと思います。来年度にはありませんが NO.8 フリーWi-Fi 整備事業について、イメージとしてはここにフリーWi-Fi がありますという施設を設けるのか、それとも道路上を飛ぶというものなののでしょうか。

産業建設課長

今の件については、観光物産課サイドで羽黒手向地内を中心に Wi-Fi を少しずつ設置しているわけですが、私どもがイメージしているのは手向の宿坊街を散策していただくことを想定しながら、例えば黄金堂とか自坊小路などで利用できるような環境だったらいいとは考えているところです。今後、皆様からどの辺が一番スポットとしていいのかご意見を伺いながら整備を進めて参りたいと思います。

会 長

神社はWi-Fiはどこにあるのですか。

委員⑥

あるのは齋館の受付あたりです。今年、羽黒山頂の参集殿まで光ケーブルを引いてくれるようですので、それがきてくれたらひょっとして山頂辺りも入るのかなとは思ってはいますけれども。

会 長

インバウンドの時代、Wi-Fiは絶対必要ですよ。

産業建設課長

設置するのは単発の予算ですが、維持費も間違いなくかかってきます。したがってつけられたいという訳にもいかないということをご理解いただければと思います。

委員⑧

NO.12のスマホ用アプリというのは、どのようなイメージなのでしょう。

産業建設課長

外部団体、門前町プロジェクトが事業主体となり手向地区を中心としたインバウンドを意識したソフトを作りたいとの提案があったものですから、手向地区なり羽黒地域の観光振興ということで非常に有意義なものになると思われまますから、助成をしながら一緒に進めて行きたいと考えています。

委員⑨

観光地どうしを繋ぐということでしたが、お客さまから映画村への行き方をよく聞かれるのですが、外国のお客さまや路線バスで来た人などはどのように行っているのでしょうか。前の映画村ができた時は、豪華なバスが駅からは走っていたことがありましたよね。あれは今ないのでしょいか。

産業建設課長

今は走ってはいないですね。

委員⑩

毎日あることではないとは思いますが、タクシーで行くには高いですし、バスもなければどのような手段で映画村に行っているのでしょうか。

産業建設課長

まずは自主的にタクシーで行くか、あるいは庄交タクシーですと主要な観光地巡りコースというのものもあるようですので、そのようなものを利用しているのではないのでしょうか。その中に映画

村が入っているかは分かりませんが、半日コースで手向地域や神社を巡る、あるいは加茂水族館を巡るようなコースでやっているとは伺っています。

未来事業で計画している観光施設ツアーバス運行事業については、これから内容を固めていくという段階であり、まだはっきりしたことは言えませんが羽黒地域は観光地が点在しているものですから多くの施設はあるものの、なかなか足のない人をどうするかというのは課題です。例えば羽黒地域をスポット的に巡るような所謂、はとバスという感覚でしょうか。そのような感じで鶴岡駅など、どこか決まったところから出発してぐるっと巡るというようなものなどを観光事業者などから企画してくれるような格好であればいちばん理想的なのかなと思っています。常に安定した集客ができるかどうかは課題だと思いますのでその辺、行政ではなかなかノウハウを持っていないものですから、そういった事業者の声掛けをしていながらこれから勉強をしていかなければいけないと考えているところです。

会 長

では委員⑨をお願いします。

委員⑨

温暖化しつつある中で何か今までとは異なる作物、例えばみかんやゆずなどでもなるような状況なのだそうです。そのようなものを地域の中で産地づくりみたいなものができればいいと思います。苗木の支援とかがあれば、今後進めて行く可能性もなきにしもあらずだと思いますので是非いい案を出していただければありがたいと思います。

委員⑩

かんきつ類の研究は今、砂丘の試験場で盛んにやっています。

産業建設課長

今の件については、農協や普及所と情報共有をしながらということで、羽黒地域に合った作物なのか、新しい産地化ということのできるのかということをお勉強させていただきたいと思います。

また県で産地パワーアップ事業ということで、庄内柿などをパイプにはわせたり、ブルーベリーなども該当になっていると聞いていますので、この件についても適用されるかどうか調べながら、そういった声があり、具体的にやりたいという声があれば可能な方向で働きかけはさせていただきますが、もう少し勉強させてください。

委員⑪

飛島に設けた試験地では、かぼす、レモン、温州みかんなどが上手くできて知事も喜んでいると聞いています。温暖化の影響で確実にかんきつ類の可能性は大きくなっています。夏場の山形県は高温地帯なので問題はないのですが、越冬できるのかなどを考えると経営として成り立つのかという心配はありますが、研究は進んでいて可能性はあると思います。

会 長

この総合計画を見て全然触れられていないのが害獣です。実際問題イノシシがすごいのです。下谷あたりはイノシシのせいで耕作をほとんど辞めました。

委員③

猪は豚コレラは持っていないのでしょうか。

委員①

持っている可能性はあります。

委員③

政府の方で豚コレラに対して猪へ薬の入った餌を撒くという話でしたが、この辺では当てはまらないのですか。愛媛県では実施すると言っていましたよね。

支所長

この辺はまだ畏なのではないのでしょうか。その講習を受講し資格取得する際には補助がありますので是非活用ください。

委員①

NO.16 観光案内看板設置事業についてこれは観光地だからだとは思いますが、羽黒全域が観光地だと、どうぞおいでくださいというような発想で例えば私の集落は松ヶ岡への通り道なのですが良く聞かれるのです。ブルーベリー農園は当然です。観光客でも分かるような、全村全集落の全ての観光案内版のような集落のデザインのようなものを設置したらどうでしょうか。確か藤島はそうなってるのではなかったでしょうか。酒田、飽海郡あたりでもかなりユニークなものを立てています。各集落の意識を高めるためにも活性化するためにも繋がるのではないのでしょうか。

会 長

三ツ橋の看板はいいのだけれども、藤島から来る境、添川から手向に入って来る所の看板は見ると無残です。生きているのは、羽黒高校の学生がデザインした三ツ橋の看板だけです。観光地としては非常にみっともないので、来年この予算を付けた方がいいと思います。

産業建設課長補佐

今、おっしゃった旧羽黒町の境にあった看板についてですが、老朽化していることは私どもも把握しております。今年度日本遺産の予算の方に要求して予算化していただいたのですが、実際に事業化に向かったところ、大きさ位置で現状の屋外広告物の条例に規制がかかるような内容の看板でありまして断念したという経過があります。今と同じようなものは立てられないということが明らかになったものですから仕切り直します。

会 長

であれば撤去したらいいのではないですか。

産業建設課長補佐

小さくするとかあるいは極端に道路から離れた位置にするとか、そういうことをしないとできないと言われたものですから、そうすると効果も薄れるということもありますし。

会 長

直すのもだめなのですか。

産業建設課長補佐

そうですね。直すとなれば県の方に届出をしなければなりませんし。

会 長

それでは本当に撤去した方がいいと思います。

産業建設課長補佐

老朽化しておりますので将来的な危険も無くはないものですから、それも一つの考えだと思っています。

委員⑥

資料4のNO.4について市民の記念訪問とあるのですが、どのような内容で募集を掛けているのでしょうか。また、No.13の地域の次世代リーダーや担い手の育成のための研修というのは具体的にこういうものというのがあるのであれば教えてください。

総務企画課長

先程説明しましたように当初計画していた市民の記念訪問ですが、①のサマー交流については周年事業として同額を認めるということでしたが、②の市民の記念訪問につきましては先程説明落としたかもしれませんがこちらの方は予算がついていません。

NO.13については、市総合補助金の新設されるという事ですが、これはまだ具体的な内容はまだはっきりと決まっていないようですが、いきいきまちづくり補助金、ステップアップ補助金とパートナーズ事業、こういったものが一つに統合されて新しくできる事業だということです。また、まちづくり塾でも研修制度があるということですので、そういったものを活用し人材育成というものに対応するとのことでしたので宜しくお願いします。

会 長

その周知は区長会をするのですか。

総務企画課長

具体的な内容がまだ今時点では分からないものですから、補助要綱が分かり次第周知したいと思っています。

支所長

少し補足いいですか。地域まちづくり未来事業については今、総務企画課長が説明した通りですが、こちらから提案して全体化していこうという動きに結びついたという事業もあります。例えば NO. 14 の防災無線の個別受信機。これは羽黒庁舎で提案したところ、防災ラジオなどで対応できないかなどやっとなんか動き出しまして、コスト比較をしたり性能の問題もあると思いますが、そのような検討に入っています。ですから羽黒の未来事業で提案しても該当しなかったわけですが、こちらが提案したことにより全体化しているということもありますので、その辺はご理解いただきたいです。

次世代の人材育成の NO. 13 についても、研修事業については統合した新しい補助事業に取り組むこととなりましたし、育英会については、羽黒育英会への補助ということでやはりこちらから提案していたのですが、市長との対話集会でも特に委員①からも市長に直接人材育成の面で訴えかけてきたということもやはり後押ししているのかなと思っています。こうしたことにより、未来事業計画を羽黒が提案したことによって全体的に検討していくという事業もありますので、その辺は参考までにご紹介したいと思いますし、資料 3 の NO. 13 の羽黒山スキー場活性化事業については、これは未来事業では要望はしていませんでしたが、査定の結果、朝日は未来事業で要望しているの、それと合わせる格好で未来事業に予算化されています。これも改めてご紹介したいと思います。

会 長

スキー場活性化事業は具体的に何がついたのでですか。

支所長

これはリフトの修繕だけです。

会 長

ロジはつかなかったのですか。

産業建設課長

屋根を直すとかちよつとした修繕は小規模修繕でついています。

会 長

それでは (3) その他ということで委員②何かありませんか。

委員②

1 月の市民説明会で若者が来ないので企業を取り込んではどうだという話が出たのでした。そ

それは確かにそうだとは思いますが、企業を呼んで子どもが帰って来て就職をしたとしても羽黒に住むかどうかは、極端な話分からないわけです。例えば第四地区に市営住宅を作るとかというのはどうだろうかと思っていました。今なかなか私の家もそうですが、冬は便利が悪いもので、若い人たちが子どもが大きくなると泉地区の方に移ってしまう。私だって二人しかいないので、もう少し便利のいい場所に住みたいと思います。できることならやはり地域の交流も大事ですが、先程委員①も言っていました。小学生に地域の良さとか、人とのつながりの良さとかを教えて、帰って来てもらうということは大事だと思うのです。ですから、企業を誘致したからといって家に戻って来るとは限りません。その辺をやはりきちんとしないといけないのではないのでしょうか。公民館（活動センター）が新しくなるので、なるべく子どもたちと関わり合いを持ってやっていきたいと思っています。

委員③

私は羽黒一小の時、羽黒小学校でもそうですが毎年授業を行っています。歴史の中で最後に手向に、羽黒町に住むことに誇りを持ちなさいなどと話すのです。でこの資料4のNO.20になるのですが雪囲い。雪囲いをしながらなんでこんなところに生まれてしまったのだろうと思うのです。雪囲いもそうですが、高齢者の倉庫が雪で傾き潰れかかっているのです。ですので雪囲いの取外しの経費もいいのですが、去年も今年もそうだったのですが高齢者が一人で住んでいる家で屋根の二階だけを下ろして一階はお金がないからいいというのです。そういう下ろし方している家が多くあるのです。雪囲いもいいのですが、そちらの方を面倒をみて欲しいです。

市民福祉課長

現在16,000円を上限として雪下ろしの補助をしています。しかし、大きい家では当然そんなものではできないと30,000円、50,000円という領収書の中で、16,000円ですと補助をしているのが今の予算の中での話です。確かに鶴岡市全域で雪下ろしが必要だということではなく、やはり地域性があるという所で使わせていただいています。確かに今、住居だけが対象です。下した雪を片付けるところまで一連ではみるのですが、やはり16,000円というところで引っかけます。民生委員にも声を掛けてもらいながら、先ず潰れてしまうというのが一番困りますからそこは注意をしています。

住宅以外の車庫や倉庫とかありますが、なかなかそこまではどうなんだというような所がありまして要望として承っておりますので、私どもでも引き続き要望しているという形ですのでご理解いただければと思います。

会 長

(3) のその他について事務局何かありますでしょうか。

地域まちづくり企画調整主査

協議事項ではなく5.その他ということで少し話をさせていただきます。今日皆様からご意見をいただきましたが、地域振興懇談会はこれが今年度最後となっておりますので、この後は庁舎内部で調整し、完成いたしましたら委員の皆様にご完成品をお送りさせていただくということでご理

解いただきたいと思います。

それから、委員の任期が今年度で終わりとなっています。羽黒地域は組織の代表ということで入っている方が多いのですが、来年度以降学識経験者の枠を広げたときには、快く引き受けていただきたいという願いをさせていただきたいと思います。

それから、これは懇談会の話と違うのですが、来週2月26日に出羽三山魅力発信協議会が手向地域活動センターで講演会を開催します。今日、魅力の会長、副会長がおりますけれども、手向住民だけの参加ということではありませんので、都合がつけば委員の皆様だけでなく周りの方の背中を押していただいてぜひ参加していただければと思います。また、先程会長が3月10日の話をしていましたが、3月10日土曜日ですが人口分析シュミレーションについて、先端研の方で午後2時から行う予定です。事前に申し込みが必要とのことですが、ぜひ聞いていただければと思います。こちらからは以上です。

6 閉 会 (総務企画課長)